

令和6年度事業報告について

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1. イベント交流活動事業

(1) 「2024北海道スカイスポーツフェア in 美唄」の開催

- ・テーマ 「空と大地の恵みが奏でるハミング」
- ・日時 令和6年9月8日(日) 7:00～14:30
- ・場所 美唄市農道離着陸場「美唄スカイパーク」
- ・主催 公益社団法人北海道スカイスポーツ協会
- ・後援 国土交通省北海道開発局、北海道、美唄市
一般財団法人日本航空協会、一般財団法人北海道開発協会
一般財団法人北海道河川財団、一般財団法人石狩川振興財団
一般社団法人北海道開発技術センター
一般財団法人北海道道路管理技術センター
一般社団法人寒地港湾空港技術研究センター
公益社団法人北海道観光機構、美唄商工会議所、美唄観光物産協会
- ・協賛 美唄市農業協同組合、株式会社北海道銀行、株式会社ドーコン
- ・来場者数 3,000人

・概要

8月下旬から9月上旬にかけて自転車並みの遅い速度で日本を縦断し、各地で甚大な被害をもたらした台風10号。事務局としてはその動きを非常に心配していましたが、当日は早朝から青空となり、絶好のフェア日和となりました。

美唄市でのスカイスポーツフェアは、平成29年に続き4回目の開催となり、近隣の市町村や札幌圏からも多くの来場者を迎えての開催となりました。

毎回人気の熱気球の係留フライト体験搭乗は、今回は先着順での搭乗方式を改め、事前に当協会HOSPAsのホームページに申込みされた方の中から搭乗者100名を決定しました(350名を超える申込みがあり、抽選で100名決定。)

同じく人気のヘリコプター体験搭乗は有料での早朝からの実施でしたが、受付には6時30分頃から長い列ができ、90名が体験搭乗しました。

午前中のスカイダイビングのデモフライトでは、2人のダイバーが晴天の上空から降下し、大会旗と美唄市旗をなびかせながらの目標地点に見事着地。会場からは大きな歓声と拍手が起きました。

美唄市長と大会長にそれぞれの旗を返還後、美唄市長からは歓迎の挨拶、大会長からはフェア開催の挨拶を行いました。

ラジコン模型では珍しいジェットエンジンの大型ヘリコプターなどの飛行演技が披露されました。スポーツカイトでは、軽快な音楽に合わせて3人のプレーヤーが自由自在に操る演技が行われました。また、ジェット機による滑走路をすれすれに飛ぶローパス飛行、グライダーによる曲技飛行、軽飛行機・モーターパラグライダーが飛行する度に大きな歓声が上がっていました。

紙飛行機・竹とんぼ・凧づくりの各子供教室では家族連れが多数参加し、一生懸命に作った自分の作品での模擬競技会では、より高くより遠くへと力を込めて頑張りました。

格納庫前の広場で、凧あげ・紙飛行機など自由にいつでも遊ぶことができる「こどもひろば」を用意したところ、予想以上の多くの家族連れが参加し、風に乗った凧が空高く舞い上がっていました。

フェアの最後には、沢山の景品を用意した恒例の「お楽しみ抽選会」が行われ、抽選券の配布の際には長蛇の列ができました。

今回のフェア開催にあたって、ご後援、ご協賛いただいた関係機関、団体、企業等各位、そして、大会準備、運営にご尽力とご協力をいただいた美唄市並びにボランティアでフェア運営に当たっていただいた各スカイスポーツ団体の皆様に厚くお礼申し上げます。

・プログラム実施内容

○飛行展示（デモフライト）

モーターグライダー、マイクロライトプレーン、モーターパラグライダー、スカイダイビング、模型飛行機（ラジコン）、スポーツカイト

○地上展示

モーターグライダー、マイクロライトプレーン、モーターパラグライダー、模型飛行機（ラジコン）、スポーツカイト、熱気球（バスケット）

○スカイスポーツ教室、模擬競技会

紙飛行機、竹とんぼ、凧作り

○体験会

パラグライダーふわり体験、模型飛行機（ラジコン）操縦、スポーツカイト操作、熱気球搭乗（係留）、ヘリコプター体験搭乗（有料）

○アトラクション

お楽しみ抽選会、模擬競技会

○グルメコーナー

(2) スカイスポーツ競技会への支援

①「HOSPA杯争奪スケールアクロ競技会」北海道RC模型航空連盟

・7月に札幌市で開催予定のところ、参加者少数につき実施しなかった。

②「HOSPA CAP in 島牧」北海道ハグ・パラグライディング連盟

・10月5日（土）～10月6日（日）島牧村で開催予定のところ、参加者少数につき実施しなかった。

(3) スカイスポーツ関係者交流会の開催

安全対策検討会と合わせて開催しているスカイスポーツ関係者交流会については、日程調整が難しかったこと等から、今年度は開催を見送った。

2. 啓発普及活動事業

(1) 広報誌等の発行による啓発普及

① 広報誌「あえる」第66号発行 1月15日付（1,200部）

会員、スカイスポーツ団体、関係法人等幅広く配布。ホームページにも掲載し、今後開催予定の各種講習会・体験会・SS教室や北海道スカイスポーツフェア来場者にも配布する。

② スカイスポーツイベントカレンダーの発行

道内各団体の主要イベントを収集し4月に発行。

関係者他一般に配布、ホームページにも掲載する。

(2) 情報収集提供

① ホームページの活用

- ・当協会案内の更新（事業計画・決算情報等の開示）
- ・広報誌「あえる」・北海道内におけるイベント情報・スカイスポーツガイドブックの掲載
- ・主催・共催事業・トピックスのお知らせ、フェアDVD動画の掲載

ここ数年当協会ホームページのアクセス件数は順調に増え、今年度は月平均3000件を超えている。

② 後援共催等イベント支援事業

- ・「第51回北海道バルーンフェスティバル」 上士幌町航空公園

8月2日（金）～ 4日（日）

後 援 一般社団法人北海道スカイスポーツ協会

参加機数 45機

競技参加者 290人

観客数 36,000人

(3) 体験会の開催

① パラグライダーふわり無料体験会

開催日 6月8日（土）～ 9日（日）

場 所 パラライフ北海道講習バーン（赤井川村）

参加人員 19名

② みんなのスカイスポーツ教室

6月23日（日） 札幌市手稲区 前田森林公園

- ・「熱気球」体験搭乗会 参加者120名抽選で決定（申込者486名）
- ・「スポーツカイト」演技 風が弱かったが、実施した。
- ・「紙飛行機」演技 ”

7月14日（日） 美唄市茶志内 美唄スカイパーク

- ・バルーン体験搭乗会 参加者102名（申込者全員搭乗できた。）
- ・「スポーツカイト」演技 風が強く、一部の実施となった。

(4) 安全講習会等の開催・支援

① 安全講習会の開催・支援

○マイクロライトプレーン

開催日 令和6年3月31日（日） 9：15～11：45

場 所 帯広市 とかちプラザ

主 催 北海道ウルトラライト航空連盟

共 催 (公社)北海道スカイスポーツ協会

講 師 JML理事 大塚 健一 氏

テ ー マ 1 近年のマイクロライト事故概要「再発防止に向けて」

2 全国JML会員の楽しく安全な飛行啓発の推進

参加人員 25名

○ハング・パラグライダー

開催日 令和6年6月8日(土)
場 所 パラライフ北海道講習バーン(赤井川村)
主 催 北海道ハング・パラグライディング連盟
共 催 (公社)北海道スカイスports協会
内 容 ① ヒアリング ② 装備、技術確認 ③ メニュー作成
④ グランドハンドリング実施 (所要時間約2時間30分)
講師: 田代茂樹、佐々木泰文 (JHFパラグライダー教員)

参加人員 23名

② 指導者研修会の支援

○ グライダー(北海道滑空協会主催)

開催日 10月26日(土)、10月27日(日)
場 所 たきかわスカイパーク
講 師 櫻井玲子(日本グライダークラブ フライトインストラクター)
内 容 失速領域での挙動の確認及び状況判断など
参加人員 5団体10名

③ 安全対策検討会

12月に開催を予定していた安全対策検討会については、日程調整が難しかったこと等から、今年度は開催を見送った。

3. その他の主な活動

開催会議

令和6年4月25日(木)	令和6年度第1回理事会	ほくほく札幌ビル
令和6年5月24日(金)	令和6年度定時総会	ほくほく札幌ビル
令和6年5月24日(金)	令和6年度第2回理事会	ほくほく札幌ビル
令和7年3月27日(金)	令和6年度第3回理事会	ほくほく札幌ビル